

(別紙5)

整理番号 2020P-072  
補助事業名 2020年度 国際交流の推進 補助事業  
補助事業者名 公益社団法人アジア協会アジア友の会

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

有効な資源を再生し、必要としている人々に贈ることにより、循環型経済社会に向けて人と地球環境に優しい自転車の活用促進を図る一方、同じ目的をもって国境を越えた協力体制・信頼関係を構築する中で国際交流の推進を図り、地域社会・国際社会で活躍、貢献できる人材を育成し、もって公益の増進に寄与する。

### (2) 実施内容

<https://jafs.or.jp/about/summary.html#cycle>

大阪府内の6市から回収した引き取り手のない放置自転車を修理・再生し、自転車を必要としているカンボジアへ520台の自転車を贈った。遠方から学校に通う学生や先生、村の助産婦、貧しい農民や農業組合等で有効活用されている。日本国内及び寄贈国で様々な団体と連携して随時事業紹介や協力依頼をおこない、活動の普及・啓発活動をおこなうとともに国際交流を推進した。



補助事業について村人に説明  
カンボジア



自転車寄贈式  
カンボジア



自転車を贈られた子ども  
カンボジア



自転車を贈られた子ども  
カンボジア

(別紙5)

## 2 予想される事業実施効果

贈られた自転車によって、それまで不可能だった通学や仕事の効率化、生活の改善を可能にし、受益者達が自立への第一歩を踏み出し、将来をより良いものに変えていくことができるようになった。そのことが地域社会福祉環境の底上げとなり、また自転車を地域の共有財産とし有効に活用することで、地域住民が互いに協力しながら地域社会を創造していくことにつながっている。事業を通じてボランティアネットワークができ、地域共同体の結束が強まり、地域の他の問題解決に対する協力体制もより強固になってきている。さらに地球環境保全への意識を高め問題解決に向けて行動していくことで、国境を越えて同じ地球市民としての視点を持ち、互いに協力しあう国際交流の推進活動を拡げていくことが期待される。国際協力・交流に実践的に参画していく市民が増え、経験を積み重ね、その体験を拡げていくことで、今後国際社会で活躍・貢献できる人材育成につながっている。

自転車を通じて、日本と各国の国際交流が活発になり、人と人の絆が深まることによって、草の根の理解と協力の輪が広がることが期待される。

## 3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの  
特になし

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの  
機関紙 アジアネット145号

([https://jafs.or.jp/user/media/jafs/page/about/summary/ASIANET145\\_compressed.pdf](https://jafs.or.jp/user/media/jafs/page/about/summary/ASIANET145_compressed.pdf))



(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益財団法人アジア協会アジア友の会  
(コウエキシャダンハウジンアジアキョウカイアジアトモノカイ)

住 所： 〒550-0002  
大阪市西区江戸堀1丁目2番14号

代 表 者： 会長 篠原 勝弘 (シノハラ カツヒロ)

担 当 部 署： 総務 (ソウム)

担 当 者 名： 業務主任 岡本佳子 (オカモト ヨシコ)

電 話 番 号： 06-6444-0587

F A X： 06-6444-0581

E - m a i l： [okamoto@jafs.or.jp](mailto:okamoto@jafs.or.jp)

U R L： <https://jafs.or.jp/>